

# 市民キャビネット 男女平等部会

座長 鈴木ふみ  
すぺーすアライズ 事務局長  
[allies@crux.ocn.ne.jp](mailto:allies@crux.ocn.ne.jp)  
千葉県市川市南八幡4-5-20-5A

# 男女平等部会とは

- ・ 男女平等社会を目指す。
- ・ ジェンダー、性指向、性自認等による差別のない社会を目指す。
- ・ すべての人の包摂、参加、エンパワメントを目指す。
- ・ 総勢50名程度。

日本国内

必要な基盤整備

政府・行政

対等な協働

現場のニーズ

女性団体等

参加障壁の除去

政治参加

連帯・活動・参加

安心できる、暴力・差別のない生活の保障

女性たち・セクマイ

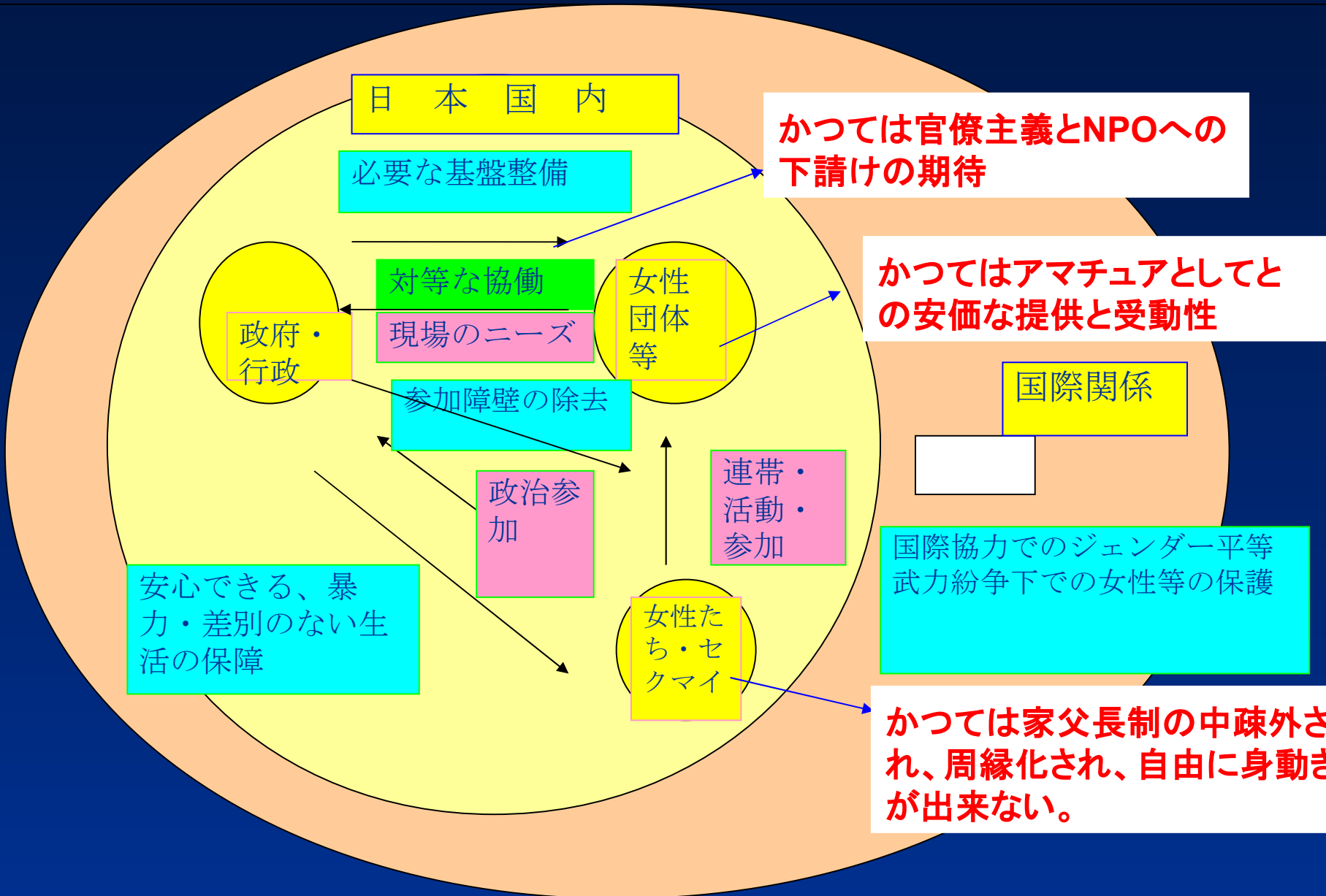
かつては官僚主義とNPOへの下請けの期待

かつてはアマチュアとしての安価な提供と受動性

国際関係

国際協力でのジェンダー平等  
武力紛争下での女性等の保護

かつては家父長制の中疎外され、周縁化され、自由に身動きが出来ない。



# 過去

- ・ 少なくとも近代の歴史を振り返ってみると、女性やセクシュアル・マイノリティが差別や暴力や貧困、過剰な負担を免れたことはなかった。  
⇒ 参加への排除と、社会の活力の剥奪の循環

# 過去の問題点

- ・ 制度・法の不備
  - ・・・労働法制、社会保障・税制、家族法、女性・マイノリティに対する暴力等
- ・ 政府の調整機能の不全
- ・ 社会・文化・こころについてのゆがみ
  - ・・・日本型福祉社会、性別分業
    - 女性やセクシュアル・マイノリティの自尊心、自己評価を傷つける文化

# 2009年後半以降の出来事

- ・ 国連 女性差別撤廃委員会勧告
- ・ 政権交代
- ・ 生活保護母子加算復活
- ・ 第3次男女共同参画基本計画閣議決定
- ・ 性暴力・DV等ホットライン
- ・ 自殺対策
- ・ セクシュアル・マイノリティホットラインや各計画でのセクシュアル・マイノリティの言及。

など

# 2010年 男女平等部会の提言 1

- ・ I 全般的政策
- ・ 1 女性差別撤廃委員会勧告(総括所見)の早期かつ効果的な完全実施。
- ・ 2 男女平等と女性のエンパワメントに取り組む女性団体、当事者団体の経済的基盤の確保を促進。  
その施策の実施と政府との対等な協働関係の構築
- 
- ・ 3 閣僚に占める女性の割合を2分の1とすること。  
以上の総論的政策を実施するため、本部会は次の個別の政策提言をする。

# 2010年 男女平等部会の提言 2

- ・ II 女性に対する暴力の被害者支援と予防
- ・ 4 女性差別撤廃委員会での性暴力分野の勧告(総括所見)の完全実施
- ・ 5 効果的な性暴力被害者支援システム
- ・ 6 ドメスティック・バイオレンス(DV)民間シェルターへの公的財政支援
- ・ 7 DV被害者の自立支援に向けた住宅政策等
- ・ 8 デートDVへの法的支援と防止啓発教育の実施
- ・ 9 セクシュアル・ハラスメント対策の推進
- ・ 10 NPO等のセクシュアル・ハラスメント対策講師派遣事業

# 2010年 男女平等部会の提言 3

- ・ Ⅲ 性的マイノリティに対する支援
- ・ 11 同性愛、性同一性障害など性的マイノリティの自殺予防
  
- ・ Ⅳ 国際貢献
- ・ 12 国際協力分野における男女平等
- ・ 13 武力紛争下の女性や子どもを性暴力から守るシステム構築への貢献

# 2011年の部会の課題

2010年までの成果の定着化・定例化  
子ども・子育て新システム

女性差別撤廃条約 選択議定書批准

労働者派遣法改正 税・社会保障改正

民法・戸籍法改正 DV法三次改正

女性差別撤廃条約 フォローアップ など。

①目的、②全般的効果、③さまざまな女性たちの  
視点から、女性のために役立つか検証し、提言

将来・・・ 差別がなく、  
すべての人が生を肯定される社会へ

○

- ・ 性差別禁止法の制定を
- ・ エンパワメントの社会改革へ
- ・ (孤立解消のための)ひとりでも生きていくことができる社会へ

# 税金を使ってもよい政策コンテスト

## に関連して

- ・ 税・社会保障における公平
- ・ 市場における貢献に応じた分配(同一価値労働同一賃金)と、「公正・人権」に基づいた分配(税・社会保障)
- ・ 1 税・社会保障負担が低所得者に不利に働く逆進性の進行を食い止め、抜本的な解消すること。
- ・ 2 所得税における配偶者控除を撤廃し、世帯単位の課税制度を個人単位にあらためること。
- ・ 3 税・社会保障が、所得の再分配機能を果たす仕組みとすること。